



奈良県消費流出実態調査

調査の目的

本県における県外への消費流出額は、平成 23 年に実施した奈良県内消費実態調査によると約 4,000 億円であり、消費額の 23.5%にのぼる。この県外に流出している消費額を抑制し、地域経済・産業の活性化に資する施策の検討を行うため、県外に流出している現状について調査を行う。

調査の対象

奈良県在住の 18 歳～80 歳男女で、県外に通勤・通学する方など。

調査方法

I. インターネットによる調査

インターネット調査モニター（インターネット通販の会員登録者）に対してアンケートを配信。平成 25 年 6 月 1 ヶ月間における対象者の消費の状況について調査を実施。（有効回答数 3,060）

II. アンケート調査に基づくグループインタビュー

インターネットによる調査で回答があった対象者のうち、ふだんの買い物で不便・不満を感じている人 6 名、感じていない人 6 名に対し、それぞれのグループ別にインタビューを実施。

(連絡先)

産業・雇用振興部 産業政策課

産業調査分析係

Tel : 0742-27-8929

Fax : 0742-27-4473

1 「ふだんの買い物」に不便・不満を感じているのは、30歳代以下の女性に多い。

ふだんの買い物環境を不満に思うことがある人は、男性 16.7%、女性 31.2% であり、特に20歳代以下や30歳代の女性に多い。

不満の理由としては、「近くに店舗がない」「店舗の種類に不満がある」などが多いが、30歳代以下の女性は「交通が不便」「品揃えが不満」なども多い。

表1 ふだんの買い物で不便・不満に思うこと（男性）

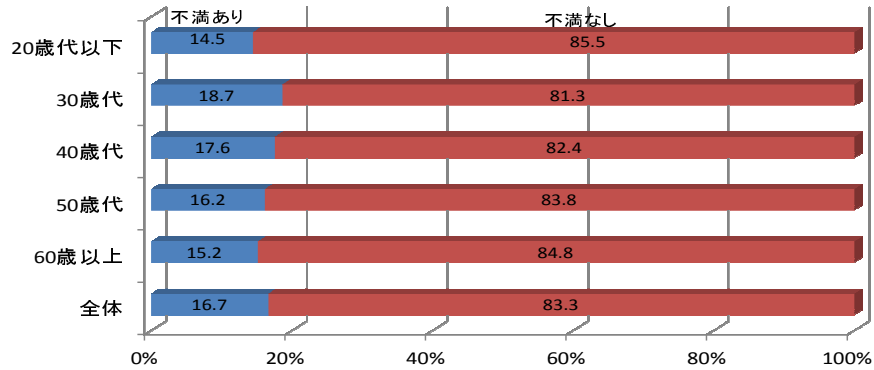


表2 ふだんの買い物で不便・不満に思うこと（女性）

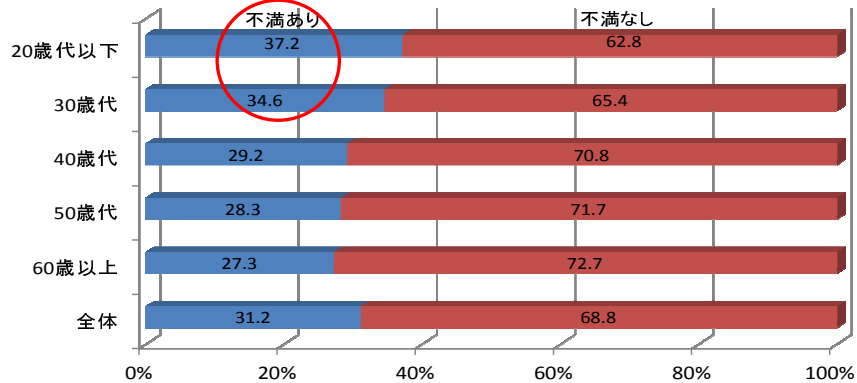
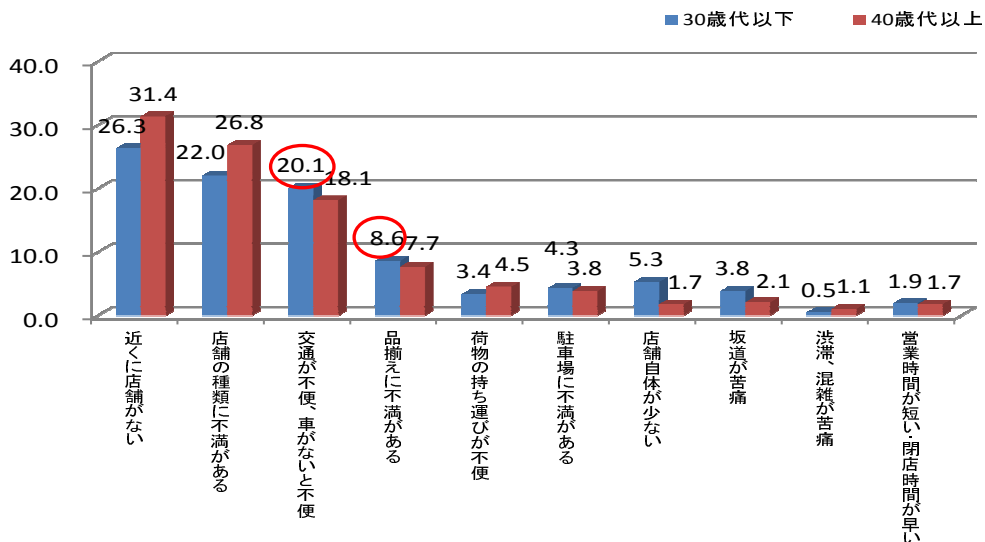


表3 不便・不満に思うことの内容（女性）



2 県南東部で不便・不満に感じている方が多い。

桜井市・宇陀市等ブロック、五條市・吉野郡ブロックでは、不便・不満に感じている割合が高い。また、住まいの身近に店舗が「何もない」割合が高く、「コンビニエンスストア」「総合・食品スーパー」がある割合は低い。

身近に日用品を購入できる「コンビニエンスストア」「総合・食品スーパー」の有無が不便・不満に影響を与える一つの要因と考えられる。

表4 ふだんの買い物で不便・不満に思うことの有無（地域別）

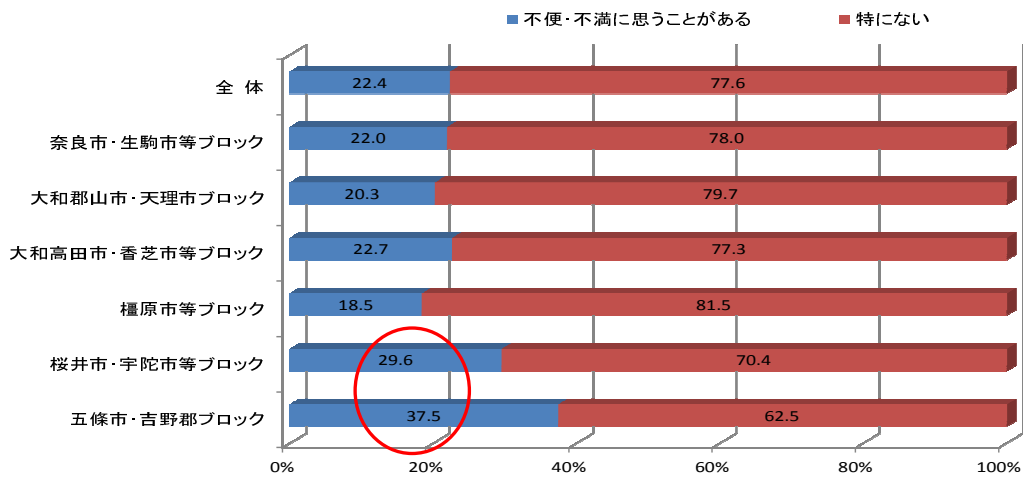
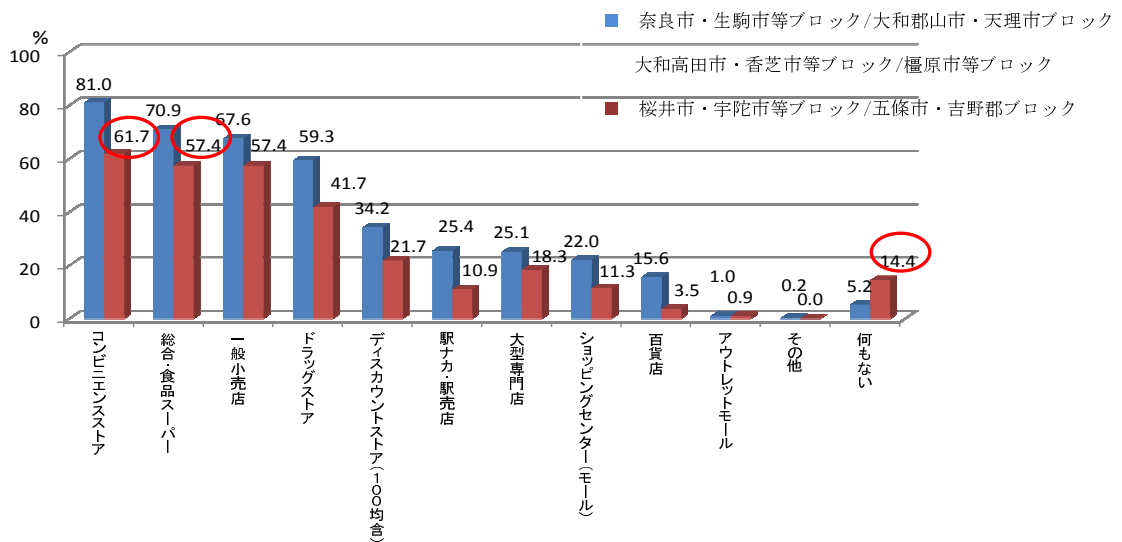


表5 住まいの身近にある店舗（地域別）



地域ブロック

【奈良市・生駒市等ブロック】 奈良市・生駒市・山添村

【大和郡山市・天理市ブロック】 大和郡山市・天理市

【大和高田市・香芝市等ブロック】 大和高田市・御所市・香芝市・葛城市・平群町・三郷町・斑鳩町安塔町・上牧町
王寺町・広陵町・河合町

【橿原市等ブロック】 橿原市・明日香村・高取町・川西町・三宅町・田原本町

【桜井市・宇陀市等ブロック】 桜井市・宇陀市・曾爾村・御杖村

【五條市・吉野郡ブロック】 五條市・吉野町・大淀町・下市町・黒滝村・天川村・野迫川村・十津川村・下北山村
上北山村・川上村・東吉野村

3 出店してほしい店はアウトレットモール

身近に出店してほしい店舗として割合が最も高いのは「アウトレットモール」であり、続いてショッピングセンター（モール）が多い。

桜井市・宇陀市等ブロック、五條市・吉野郡ブロックでは身近に出店してほしい店舗として「コンビニエンスストア」が1割を超えており、身近に当該店舗が無いことが、そのまま影響した結果になっている。

ふだんの買い物で不便・不満を持っている人は「総合・食品スーパー」が一番多く、これらの商業施設の整備状況が、買い物環境の不便・不満につながっている。

表6 住まいの身近に出店してほしいお店（地域別）

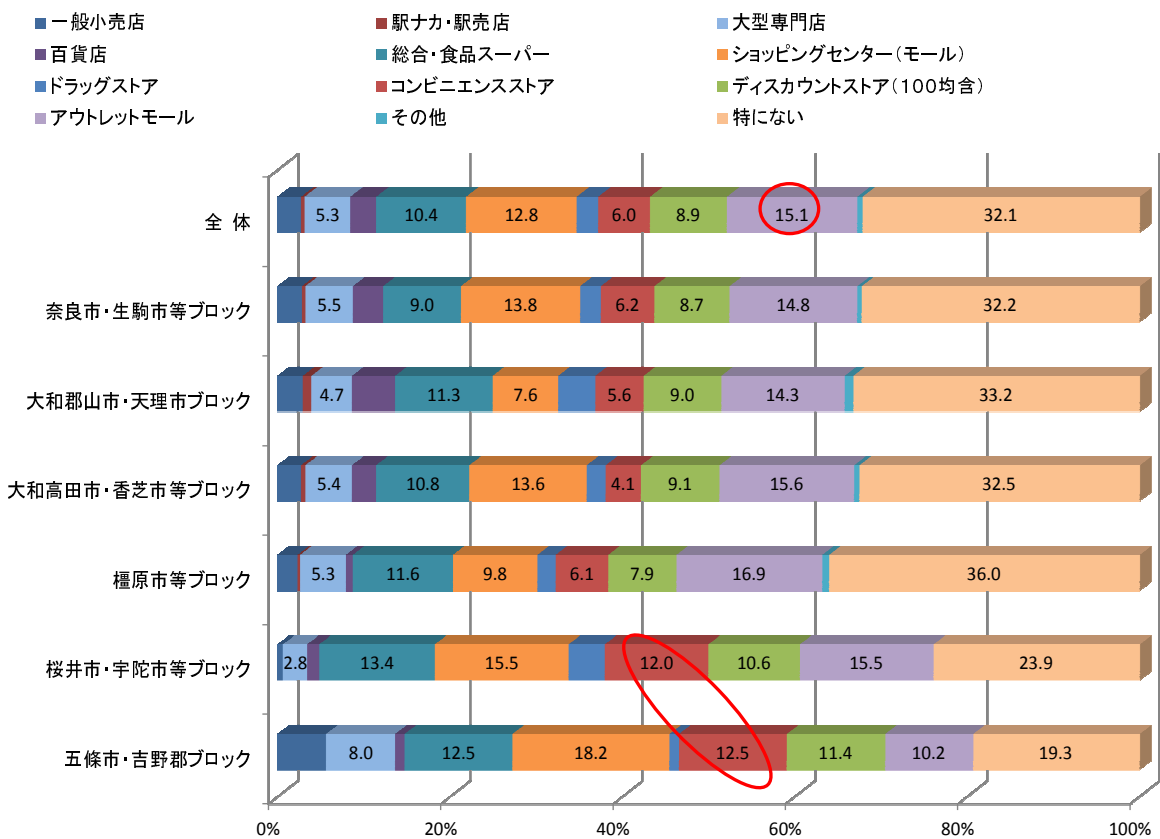
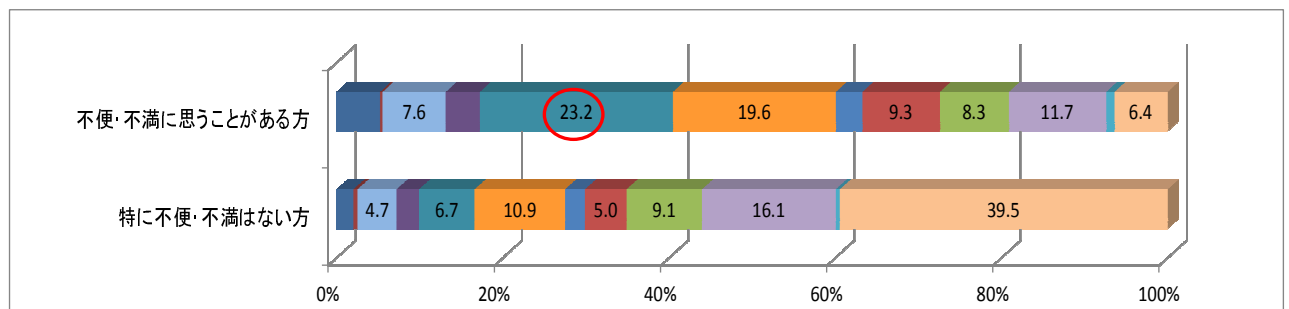


表7 住まいの身近に出店してほしい店舗（ふだんの買い物への不便・不満の有無別）



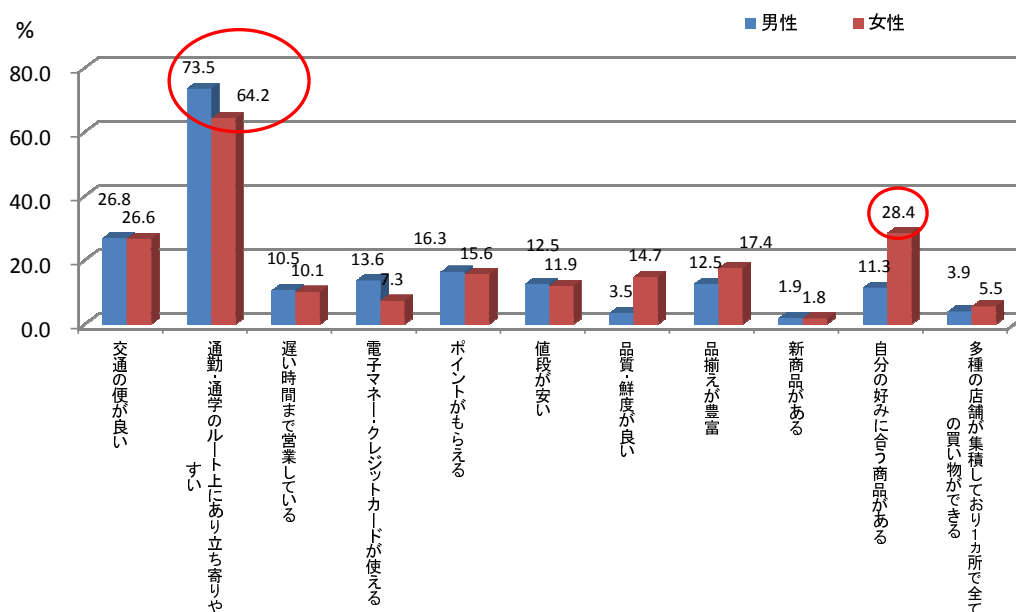
4 買い物場所を選ぶ理由は、男性・女性とも利便性。 その他のポイントとして男性は価格、女性は好み。

県外通勤・通学者が、通勤・通学途中に県外の買い物先を選ぶ理由・ポイントとして、男性は利便性が重視される傾向があるほか、値段の安さをポイントにしている商品もある。

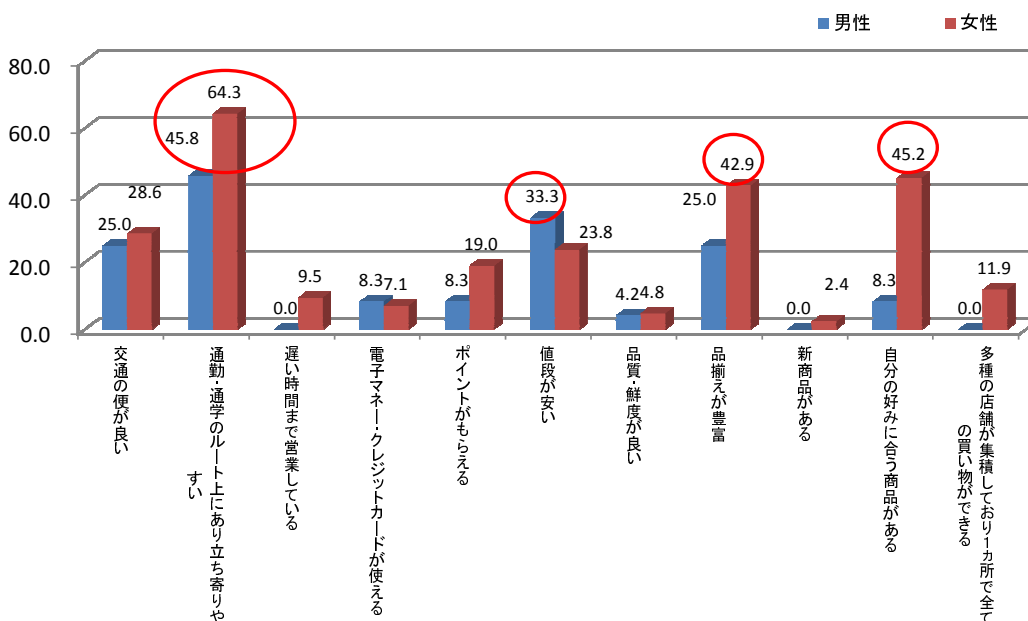
それに対して、女性は利便性だけでなく、自分好みの商品が置いてあるかどうかや品揃えなども重要と考えている。

表8 県外通勤・通学者が通勤・通学途中に買い物先を選ぶポイント（複数回答）

【パン・菓子・飲料類】



【普段着・下着・肌着・靴下等】



5 通勤途中に買う商品で最も多いのはパン、菓子、飲料類。

県外に通勤・通学している人のおよそ7割が通勤・通学途中に県外で何らかの商品を購入している。

購入される商品で最も多いのが「パン・菓子」等食料品であり、これらは県外で購入される割合が60%と高く、「コンビニエンスストア」で購入される割合が最も高い。

「書籍・CD・DVD等」については、購入者数は4位であるが、県外で購入される割合が71%と非常に高く、これらは「大型専門店」で購入される割合が最も高い。

県外通勤・通学者は通勤途中に、昼食や飲み物等を通勤途中の利便性が良い店舗で購入し、書籍などは自分の好みに合った品揃えが良い店舗で購入していると考えられる。

表9 県外通勤・通学者の通勤途中の商品購入場所

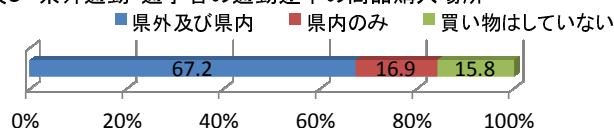
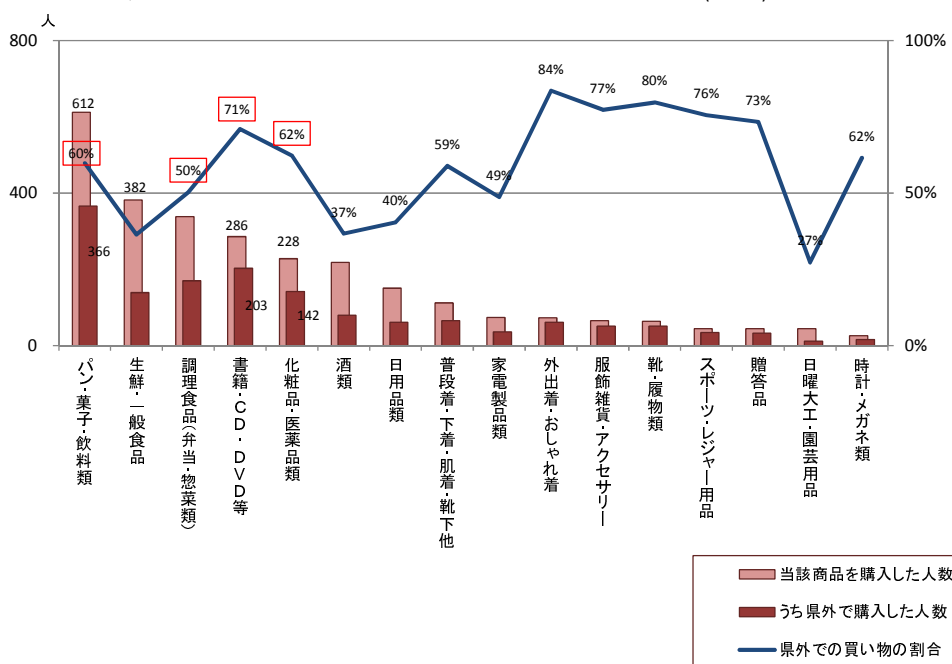


表10 県外通勤者が通勤時に買い物する商品とその県外購入割合(n=781)



【県外での商品購入店舗】

パン・菓子・飲料類

購入店舗	%	順位
コンビニエンスストア	41.8	1
総合・食品スーパー	17.2	2
駅ナカ・駅売店	16.1	3

調理食品(弁当・惣菜類)

購入店舗	%	順位
コンビニエンスストア	35.3	1
総合・食品スーパー	30.0	2
百貨店	19.4	3

書籍・CD・DVD等

購入店舗	%	順位
大型専門店	34.5	1
一般小売店	22.7	2
駅ナカ・駅売店	12.8	3

化粧品・医薬品類

購入店舗	%	順位
ドラッグストア	67.6	1
百貨店	14.1	2
総合・食品スーパー	4.2	3

6 休日に買い物をする人の約4割が県外で商品を購入。

休日に何らかの商品を購入している人のうち、約4割が奈良県外で商品を購入している。

休日に購入される商品は「生鮮・一般食品」等食料品類が多いが、県外で購入される割合が高いのは「外出着・おしゃれ着」や「服飾雑貨・アクセサリ」などの非日常品であり、これらは「ショッピングセンター（モール）」や「百貨店」で購入されている。

表11 休日の商品購入場所

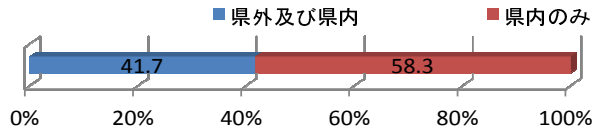
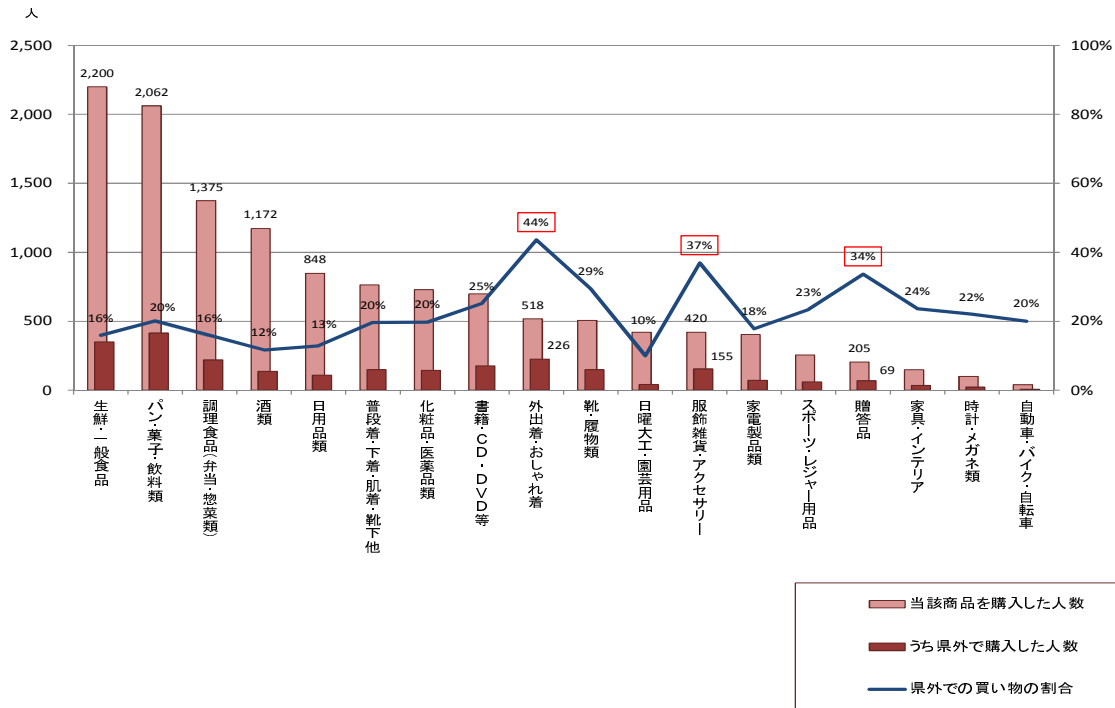


表12 ここ1ヶ月の休日に購入した商品とその県外購入割合(n=2,758)



【県外での商品購入店舗】

外出着・おしゃれ着

購入店舗	%	順位
百貨店	27.4	1
ショッピングセンター(モール)	26.5	2
一般小売店	12.8	3

服飾雑貨・アクセサリ

購入店舗	%	順位
ショッピングセンター(モール)	29.7	1
百貨店	27.7	2
大型専門店	11.6	3
一般小売店	11.6	3

贈答品

購入店舗	%	順位
百貨店	66.7	1
ショッピングセンター(モール)	8.7	2
一般小売店	5.8	3